

平成19年度当初予算 施策別概要

223 農水産業の持つ多面的機能の維持・向上

(主担当部：農水商工部)

- 22301 農業の多面的機能の発揮 (農水商工部)
- 22302 水産業の多面的機能の発揮 (農水商工部)

< 施策の目的 >

- (対象) 農業・農村、水産業・漁村の持つ多面的機能が
- (意図) 活発な農水産業活動や積極的な環境保全等の取組により維持・向上している

< 施策の数値目標 >

施策目標 項目 (主指標)	資源保全活動組織数	目標値	208 組織
		現状値	5 組織 (2005 年度)

農水産業の持つ多面的機能の重要性を理解し、地域の農地や海洋環境等の保全活動を実施する組織数 (農水商工部農業基盤室・水産室調べ)

県の取組 目標項目 (副指標)	資源保全対象面積	目標値	18,000 ha
		現状値	100 ha (2005 年度)

< 現状と課題 >

- ・ 農業・水産業は、食料の安定供給をはじめ、洪水調整機能や海洋環境の保全、憩いの場の提供など、多面的な機能を担っており、こうした役割を将来にわたり持続的に維持、向上していくことが求められています。
- ・ しかしながら、高齢化や過疎化による農水産業の担い手不足などにより、耕作放棄地の増加やため池、農業用水路などの生産基盤、漁場環境の維持が困難になりつつあります。
- ・ このため、多様な主体による積極的な保全活動が必要となっています。

< 平成19年度の取組方向 >

農水産業が持つ洪水調整機能や生物資源の保全などの多面的な機能の維持・向上を図るため、都市住民や学校、NPOなど多様な主体の連携により、社会共通資本である農地・農業用水等の地域資源を維持・保全・発展させるための仕組みづくりを進めるとともに漁場環境の改善、普及、啓発等により海洋環境の保全を図ります。

水産業や漁村の持つ多面的機能を維持するため、離島を中心とした漁村における漁場生産力の向上に関する取組や創意工夫を生かした取組を支援するとともに、水質浄化能力を有する海草類や貝類の生産量の維持増大をはかります。

<主な事業>

(新)(重)農地・水・環境保全向上対策事業【基本事業名：22301 農業の多面的機能の発揮】

当初予算額： - 千円 167,300千円

事業概要：農業が持つ洪水調整機能や生物資源の保全などの多面的な機能の維持・増進を図るため、地域住民や都市住民や学校、NPOなどの多様な主体が、社会共通資本である農地・農業用施設等を適切に維持・保全・発展させる仕組みづくりを行います。

(重)離島漁業再生支援交付金事業【基本事業名：22302 水産業の多面的機能の発揮】

当初予算額： 12,944千円 13,000千円

事業概要：漁業や漁村の持つ多面的機能を維持するため、資材調達、輸送、販売などで特に不利な条件にある離島の漁業の再生に向けて、漁場生産力の向上や創意工夫を活かした取組などを支援します。

(一部新)(舞)「みえのうみ」環境保全活動促進事業

【基本事業名：22302 水産業の多面的機能の発揮】

当初予算額： 3,894千円 14,000千円

事業概要：「里海」伊勢湾を再生し、豊かな海の恵みを取り戻すために、沿岸流域に関する情報収集・発信の強化や、多様な主体と連携した流域の健康診断および保全策を実施するとともに、地域で活動の核として行動できる人材育成や多様な主体が参加する流域ネットワークづくりを行い、県民が主体となった海の環境保全に向けた取り組みを促進します。

(新)(舞)伊勢湾漁場環境浄化型漁業推進事業

【基本事業名：22302 水産業の多面的機能の発揮】

当初予算額： - 千円 6,000千円

事業概要：有機物浄化機能を持つアサリ資源の再生を図るため、放流稚貝の最適な放流管理手法の開発や資源動態の解析等により漁業者が取り組む資源管理を促進するとともに、水質浄化機能を有するのり養殖業が安定的、持続的に行われるように、育成環境情報の提供や技術的助言等により経営安定化を促進します。